

## 資格を活かす就職先に

救急救命士と聞いて自衛隊を連想する人は少ないかもしれませんが。命を救う最前線の救急救命士、もちろん自衛隊にもその資格を持った隊員がいます。

2月26日(月)、湘南医療福祉専門学校(横浜市戸塚区)の「就職ガイダンス」に、自衛隊横須賀病院から救急救命士の資格を持つ朝倉准海尉と大畑一等海曹の2名が参加し、救急救命科の生徒たちに自衛隊での救急救命士の活動について説明しました。

「自衛隊の救急救命士は、病院や救急車だけではなく、艦艇や潜水艦、航空機など、陸・海・空の様々なフィールドで活動します。また、国内だけではなく、海外や南極大陸にも活動の場があります。」

さらに、第一線救護衛生員になると緊急救命行為を行えます。それができるのは自衛隊だけです」と説明すると、生徒から「第一線救護衛生員になるにはどのくらいかかりますか」、「どんな場面でより活躍できますか」等の活発な質問がありました。

自衛隊には様々な職域や職種があり、資格を活かして専門分野で活躍している自衛官も多くいます。学校での説明会はもちろん、資格や専門能力を活かせる就職相談も、お近くの神奈川地方協力本部の各事務所にお問い合わせください。



補足 (1)：特定の条件下で緊急救命行為ができる衛生員  
(2)：①外科的気道確保、②肺への胸腔穿刺、③輸液投与、④鎮痛剤・抗生剤投与

## 航空学生合格証授与セレモニーで学校長や担任教諭から祝福

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所(所長 荒木3等陸佐)は、2月28日(水)、神奈川県立益利谷高等学校(横浜市金沢区)において、海上自衛隊航空学生に合格したくわのこうき菜野煌貴さんに対する合格通知書授与セレモニーを実施した。

セレモニーでは、同校の岡本裕子校長をはじめ、副校長と担任及び進路担当の各教諭、菜野さんの祖母と弟が見守る中、神奈川地方協力本部長の 大谷三穂一等海佐から菜野さんに合格通知書が手渡された。

その後、テーブルを囲んだ懇談では、菜野さんが、大谷本部長から将来の夢を聞かれて「しらせ」に乗艦し、ヘリコプターで南極の空を飛びたい」と語ったり、岡本校長から勉強方法を聞かれて「担当教諭が示してもらった練習問題が多く出題されました」と、先生に相談しながら学校の授業に真面目に取り組めば合格も夢ではないと答えたりするなど、終始和やかな雰囲気でした。

菜野さんは、当初は機甲科で戦車に乗りたいと希望していたが、担当広報官の 柚木2等陸曹の勧めもあり、航空学生に挑戦して見事合格を勝ち取ったもので、担当教諭や進路担当教諭からも「真面目で授業も前向き、とても理解力が高い素晴らしい生徒」と絶賛されており、岡本校長から「自分で限界を作らないで、卒業生として羽ばたいてほしい。受け止め方の柔軟さや素直さが菜野さんの能力でもあると思うので、ぜひ頑張ってください」と激励され、早くも母校訪問を依頼されるなど、合格を温かく祝福された。

上大岡募集案内所は、「今後も一人一人の自衛隊受験者に対して親身にアドバイスを行い、合格に向けてサポートしていきたい」としている。

